

2020 年度 「応用演習」 ミニシラバス（国際理解学科）

担当者名	生田 祐子
授業のテーマ	Global Understanding and English Communication : (国際理解と英語コミュニケーション活動)
授業の内容 (200 字程度)	今、世界で起こっている問題をテーマに取り上げながら、気候変動、核軍縮、紛争と平和構築、人道支援、人権、言語政策、SDGs(持続可能な開発目標)等について英語で学び、英語語彙力とスピーチ力を強化します。英語によるミニ模擬国連も実施し、希望者は6月に京都で行われる模擬国連にも参加が可能です。
サブテキストなど	「新わかりやすい国連の活動と世界」日本国連協会
お勧め対象	教育分野（英語・社会・日本語教師）や国連などの国際機関（特に国際教育協力の分野）に関心があり、英語を使う環境が欲しいと願う学生。ニューヨーク国連研修参加希望者にも良い準備になると思います。

担当者名	塩沢 泰子
授業のテーマ	洋画やテレビドラマを通して生きた英語表現を学ぼう！
授業の内容 (200 字程度)	LG にある洋画やテレビドラマの興味ある場面の役割練習を通し、日常会話で使える表現を身につけます。受講生自身が自分の好きな映画の一場面を選び、台詞を聞き取って（読み取って？）教材を準備します。背景の文化や習慣、価値観などについてもディスカッションします。英語力をつけるにはまず真似ること！動画で意味と発音と用法を同時にマスターして使える語彙を増やしましょう。
サブテキストなど	特になし
お勧め対象	映画好きの人。ドラマが好きな人。日常会話に興味のある人。

担当者名	孫 美幸
授業のテーマ	五感を使って異文化理解力を鍛えよう。
授業の内容 (200 字程度)	国境を越える人の流れが激しさを増す中で、異文化背景をもつ人々と日常や仕事上でどう接するかを考えていくことは誰にとっても必須のテーマです。この演習では五感を使ってさまざまな異文化理解力を鍛えるトレーニングを積みます。それと同時に、異文化理解をテーマにしたテキストを読み、グループワークを通して検討・分析・発表することもあります。また、異文化理解実践の一つとして、韓国の大学生にメッセージを書いて郵送する活動も行います。
サブテキストなど	授業の中でプリント配布やテキスト購入（1,000 円程度）を指示します。
お勧め対象	異文化背景をもつ人々と交流したい、将来一緒に働きたい、多様な文化を学びたい、グループで活動して学ぶことを通して成長したいと思っている学生に勧めます。

担当者名	林 薫 (U Nyaung Nyaung)
授業のテーマ	Let's discuss global issues in English ! 国際問題を英語で学んで議論しよう！
授業の内容 (200 字程度)	国際社会は、貧困、格差、テロ、戦争・紛争、環境と持続性などさまざまな問題を抱えています。これらを自分に身近な事と考えて、どんな小さなことでもいいから、その解決のために世界の人々と行動することを目指しませんか。そのためには英語で議論をしていくことが必要です。 文法など気にしないでください。間違っているでもブローケンでもいいから、世界の多くの人々に通じる英語で「世界市民」としてメッセージを出していきましょう。Let's discuss on various challenges we face, however difficult the issue, however hard to reach, in order to act as a member of global community. Our goal is to make the world better place to live where no one left behind. Let's make it happen!
サブテキストなど	教材は基本的に学生が選びます。何か面白い英語の教材を探して来てください。国際政治、経済だけではなく社会や生活の問題など、世界的に重要な課題、持続可能な世界づくりに関係するものであればなんでも OK です。担当教員は国際協力の仕事に長年携わり、多くの人々と一緒に仕事をし、国際会議の議長や国際機関の理事会メンバーも経験しました。現実世界で使われている「生きている」英語の世界を楽しみましょう。
お勧め対象	世界をもっと住みやすいところになりたい、世界の人々をハッピーで笑顔にしたいと考えているすべての学生。

担当者名	丸山 鋼二
授業のテーマ	日中韓の歴史問題を考える
授業の内容 (200 字程度)	戦後 70 年以上過ぎた現在でも、日本は中国・韓国との間に歴史問題を抱えています。いま日韓の間では、戦時中の朝鮮人労働者の強制連行(徴用工問題)をめぐる、深刻な対立状態にあることは皆さんもご存じでしょう。どのような問題が「歴史問題」として存在しているのかを理解するとともに、日中韓の歴史問題が国際的にどのように見られているかを英語文献を読みながら、国際的な視点について考えていきます。
サブテキストなど	講義の中で指示します。
お勧め対象	東アジアに関心を持っている人。 英語読解力や日本語力を身につけたい人におすすめです。 覚悟のある学生の履修をお待ちしています。

担当者名	渡邊 暁子
授業のテーマ	開発人類学を学ぶ
授業の内容 (200 字程度)	今日、国際協力をはじめとする国内外の「支援」の現場において人類学的視点や実践がこれまで以上に求められています。そこで、本演習では、社会開発に関わる現象を文化人類学の立場から検討し、地域の文脈において適切な開発の実践に向けて提案する開発人類学について学んでいきます。 本演習の前半では、履修者複数名が既存の開発人類学に係る文献を紹介し、議論をリードしていきます。後半では、開発プロジェクトについて、実際にグループで考案・検討し、発表していきます。
サブテキストなど	授業の中で説明・紹介します。
お勧め対象	・国際協力、地域研究、開発や福祉、社会の仕組みなどに関心のある学生 ・周囲と協力して物事を進めていく意思のある学生 ・ディスカッションをファシリテートする力や語る力を培いたい学生 ・資料収集をしたり、検討、分析、考察する力を深めたい学生